

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2021/11/01号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



(注) 2021/09/12まではWTI原油価格連動型上場投信のデータ (出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

高値圏で乱高下、利食い売りで一時急落も

NY原油先物相場は、1バレル=85.41ドルまで値上がりして年初来高値を更新した後、利食い売りで80.58ドルまで急反落したが、週末にかけては83ドル台中盤まで再び切り返す展開になった。高値更新サイクルを維持したが、短期的な過熱感が強まる中、調整売りが上値を抑える不安定な地合になった。

過熱感の強さの他、米原油在庫の増加報告、新型コロナウイルスの感染が拡大する兆候、イラン核協議に新たな動きが見られたことなども、ネガティブ材料視されている。急騰が続いていた液化天然ガス (LNG) 相場が高値から反落していることもネガティブ。ただ、冬季の原油需給ひっ迫化に対して根強い警戒感があり、押し目での物色意欲は旺盛だった。大幅な逆サヤ (期近高・期先安) 傾向も維持されている。また、11月4日に石油輸出国機構 (OPEC) プラス会合を控えたイベントリスクも、下値を支えた。このため1週間の取引レンジが4.83ドルに達する荒れた展開になったものの、本格的な値崩れは回避されている。

米エネルギー情報局 (EIA) 発表の米石油在庫 (10月22日時点) は、原油が前週比427万バレル増、ガソリンが199万バレル減、石油精製品が43万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項 (ディスクレーム) をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

高値圏を維持するか、OPECプラス会合に注目

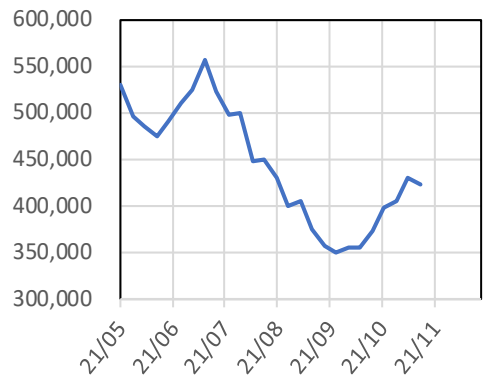
冬季の需給ひっ迫見通しが維持され、基調は強い。特に期近限月に対する買い圧力の強さが目立つ中、押し目買い優勢の地合が続く見通し。ただ、85ドルの節目到達で持高調整のニーズも高まっており、前週に続いてボラティルな相場展開を想定しておく必要がある。11月4日のOPECプラス会合がイベントリスクになるが、政策調整が行われる可能性は低い。80ドル台前半のサポートを維持しつつ、改めて高値更新を打診する動きの有無が問われる局面になる。

OPECプラス会合では、11月、12月の産油政策が協議されるが、月に日量40万バレルのペースで減産規模の縮小（＝増産）を行う方針が再確認される見通し。需要環境の先行き不透明感もあり、サウジアラビアやロシアなどが政策調整に否定的なスタンスを示している。このため原油需給ひっ迫見通しが支持される可能性が高い。ただ、OPECプラスが何ら対応を見せない場合、米国などで価格鎮静化策の議論が活発化する可能性には注意したい。

世界保健機関（WHO）は10月28日、世界の新型コロナウイルスの新規感染者、死者が約2カ月ぶりに増加に転じたと報告した。更に感染被害が拡大すると、利食い売りが加速する可能性がある。また、イランと欧州連合（EU）は10月27日、核協議を11月末までに再開することで合意した。先行き不透明感強いが、協議の進展期待が強まると、イラン産原油の供給拡大に対する警戒感が上値を圧迫する可能性がある。

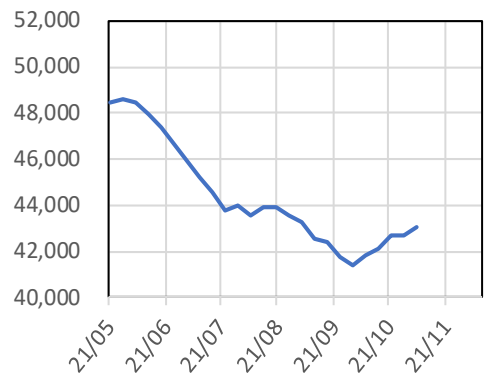
また、11月2～3日の米連邦公開市場委員会（FOMC）、5日の10月米雇用統計を受けてのドル、株価動向もイベントリスクになる。特にドル高が大きく進むと、ドル建て原油相場のパフォーマンスは悪化する。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



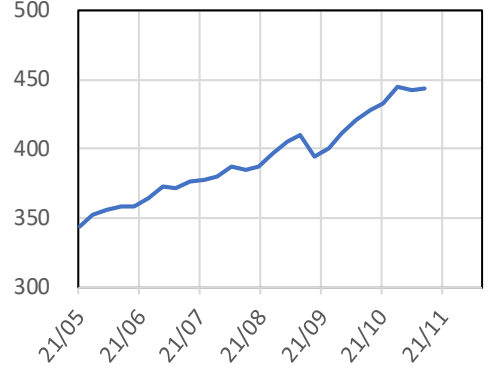
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <http://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

